

小山田大龍地区まちづくりを考える会（幹事会）

まちビジョン準備会（第2回）

2023.2.15（水）18：00～19：30

場所；大龍会館

参加者

- ・市民 9名
- ・市議 1名
- ・街づくりアドバイザー 1名
- ・町田市地区街づくり課 2名

1. アドバイザーから前回の議論内容を報告書の資料の確認。
2. 市地区街づくり課から「まちビジョン」と「地区街づくりプラン」の違いについて説明。

大きな違いは「地区街づくりプラン」では、最終的に具体的な建築物等の制限を行うルールを定め（地区計画）街づくりを進める事としていた。

「まちビジョン」は街づくりの目標や方針を設定し、建築物の制限等のルールだけでなく、それ以外の住民主体の活動も含めた地区の街づくりを推進していくもの。

まちビジョン策定後、目標・方針部分を町田市都市づくりのマスタープランに位置づけをする。

市は道路整備等の行政施策を行う参考とする。

検討ステップ（案）についても説明。

3. 参加者からの質問

Q まちビジョンの具体的な事例はあるか（イメージが湧きにくいいため）

A 去年の4月から始まったので完成したものはない

「街づくりプラン」は8事例あるので、次回に提示する

Q 現状（市街化調整区域）では土地活用もできず世代交代もできない。

山の活用でまき作りや作物でマルシェなども考えられるが、やはり道路や集客施設の整備が必要ではないか

A 市街化調整区域でも必要な土地利用を行えるように地区計画の活用等検討することも考えられる。「まちビジョン」は土地利用のルールを定めるためにも必要となる。

地域活動（相互扶助）で地域をまとめ、新しい動きで地域の活性化を図る

ことができると考えている。

参考意見（参加者）この地域は130世帯あり、イベントなどの際は全員参加で盛り上げる事も必要。

次回の幹事会では、4月から始まる会へ参加人数を増やす検討をしたい。

Q 人が活動するにも道路は必要だ。例えば6尺道など市は整備できるのか。

観光的なことを考えると人が来なければ成り立たない。緑地をハイキングするコースや立ち寄る施設（小野路里山交流館のような）を結ぶ遊歩道（フットパス）の整備ができるのか。

A フットパスの事例は近隣にもある、次回に事例紹介する。

○アドバイザーから

「街づくりプラン」は市の説明のように最終的に地区計画の策定をし、地区整備計画の中でハード整備を含めた街づくりのルールを定め、目標に向け街づくりを図るものであった。

「まちビジョン」は「街づくりプラン」の街づくりの目標・方針を定めるところは同じだが、具体的なルール（地区整備計画）に代わり地区住民の具体的な活動を明示することで街づくりを図るように変更された。

今日の議論で具体的に将来の街づくりイメージを全員で共有するため地図を用意して、この地区の現状や資源の確認、そして改めてまちビジョンの策定エリア、また会の名称などを決定したらどうか。

次回の幹事会での検討事項

- ① 市による8地区の事例紹介によるまちビジョンのイメージ確認とフットパスの事例紹介。
- ② 地形図を使った、まちビジョンのエリア決定（会の名称案）と地区の資源の落としこみと確認。
- ③ 幹事会以降の会への参加者を増やす検討。
- ④ 次回の幹事会は3月15日（水）午後6時から大龍会館